

# 廃用症候群に対する

# リハビリテーション

廃用症候群とは過度に安静にすることや、活動性が低下したことによる身体に生じた様々な状態をさします。**術後の安静**や**感染症**(肺炎、尿路感染症)や**慢性疾患の増悪**などによる活動量の低下により生じます。身体機能、精神機能の低下のリスクは高齢者では特に高くなっています。当院では、入院後早期より、医師、看護師と連携し廃用症候群に対してリハビリテーション介入を行っています。

## 廃用症候群に対するリハビリテーション介入の4本柱



予  
防

改  
善

環  
境  
調  
整

地  
域  
連  
携



**こんなところに力を入れています！**

- 廃用症候群ハイリスク患者の早期発見(病棟ラウンド、カンファレンス)
- 予防・改善を目的とした運動療法や生活動作訓練による介入
- 入院中の環境調整、退院後の環境調整による生活の拡大
- 廃用症候群となった患者さんの退院後の生活を拡大するための地域連携